**「新型コロナウィルスの感染症」に伴う各施設看護管理者への状況調査**

**愛媛県看護連盟**

１．調査目的

　今回、各施設が新型コロナウィルス感染症に遭遇し対応した。

　対応する中でどのような「現場の課題」があったかを明らかにすることで今後の対応に活かす。さらに課題解決にあたり、政治や行政に働きかけるための根拠とする。

２．調査対象・方法

　2020年3月31日時点で愛媛県看護連盟に加入している69施設

　内訳　病院：58　　　介護福祉士施設：６　　　訪問看護ステーション：5

　無記名自記述式の質問紙を郵送し返信はFAXとした。

３．調査期間

　病院：6月5日～6月26日までの21日間

　訪問看護ステーション：6月15日～26日までの11日間

　介護福祉施設6月17日～26日までの9日間

　＊質問紙ができ次第郵送したことで郵送に時間差が出ている

４．結　果

回収数・率

　　病院　49／58　（84.5％）

　　介護福祉施設　6／6　（100％）

　　訪問看護ステーション　　5／5（100％）

**【病　院】**

1. 回収率

　49／58　（84.5％）

2）設置主体

国・公的：22　　私立：25　　無回答：2

1. ベッド数

　最大数　827床（自治体病院）

　最小数　　30床（公的病院）

　4）病院における新型コロナウィルス感染症患者受け入れ状況

新型コロナウィルス感染症患者を受け入れた8病院の設置主体は、7病院が国・公立病院、1病院は設置主体が無回答であった。受け入れていない41病院中、15病院の設置主体は国・公立病院で26病院が私立病院であった。

1. 給与等への影響

　給与等への影響があると回答したのは、はいが12／49　いいえが28／49　わからないが

9／49であった。影響があると回答した内容は、「昇給の延期」１、「賞与の減額あるいはなし」が、２であった。この中で、病院独自の危険手当がついた回答した病院が1施設あった。

この他、危険手当が支給される予定と回答したのが5施設あった。この5施設は、県からの支給のことを回答したと思われる。分からないと回答したうちの2病院が賞与の減額あるいはなしが今後あるかもしれないと自由記載があった。

1. 看護のトップとして困ったこと（複数回答）

看護用具の不足が43／49病院で最も多く、次いで看護師のストレス37／49病院、

看護師の不足・配置37／49病院であった。看護用具の不足では、コロナ感染症患者を受け入れた病院中6／８病院が不足と回答、受け入れが無かった病院でも36／41病院が不足と回答した。

**【介護福祉施設】**

1. 回収率

　6／６（100％）

1. 設置主体

　公的：4　　私立：２

1. ベッド数

　最大100床（公的施設）

　最小 29床（私立施設）

1. 新型コロナウィルス感染症患者受け入れ状況

　受け入れ無し：5施設

　受け入れるか否か検討中：1施設

1. 給与等への影響

　あり：１（賞与の減額あるいは無給）　なし：４　　わからない：1

1. 看護のトップとして困ったこと（複数回答）

　感染用具不足：５　　看護師の不足・配置：２　　看護師のストレス：５

　減収：１

**【訪問看護ステーション】**

1. 回収率

　5／５（100％）

1. 設置主体

　公的：３　　私立：２

1. 利用者数（月平均）

　最大　1319人

　最小　47.9

1. 新型コロナウィルス罹患後の患者訪問

　していない：5

1. 給与等への影響

　無し：5

1. 看護のトップとして困ったこと（複数回答）

　防護用具の不足：５　　看護師不足・配置：２　　看護師のストレス：4

　利用者・訪問回数の減少：３　　訪問ステーションが休業した場合の連携体制：２